

5月から実施、過去2回助成、今回で3回目の助成です。

- ・令和2年5月31日〆切分はすでに助成実施済みです。
- ・令和2年8月10日〆切分はすでに助成実施済みです。
- ・令和2年11月1日(日)から11月20日(金)まで(→11月30日ごろに助成決定)

想定される助成フェーズの遷移

コロナ禍の緊急支援(食料支援、生活援助) → 長期化するなら公的制度へ



コロナ前からの課題が改めてフィーチャーされる
(移動困難者、社会参加困難者への理解が地域・社会で深まる)



コロナ期だからこそ動き出す
(深まった理解・世論のなかで、動き出すことを後押しする)

過去の助成決定先一覧

◎6月助成

助成先団体名	事業内容
特定非営利活動法人 Annakaひだまりマルシェ	子育て支援(手作り弁当販売) オンライン・ソーシャルワーク
特定非営利活動法人 おたがいさま	生活困窮家庭等への食料支援 フードドライブ
あつまれ前橋スポット	生活困窮家庭等への弁当配付
特定非営利活動法人 Mam`s Style	生活困窮家庭等への食料支援 居場所運営のあり方見直し
特定非営利活動法人 国際比較文化研究所	オンライン学習支援
特定非営利活動法人 ターサ・エデュケーション	オンライン学習支援
ハレルワ	LGBTQの若者交流・相談支援
特定非営利活動法人 わんぱくひろば	障害児の“ステイホーム”支援

◎8月助成

助成先団体名	事業内容
交通からまちづくりを 考える会 前橋	公共交通機関(バス等)を利用した 高齢者、障害者の外出支援
一般社団法人 群馬県手をつなぐ育成会	支部活動・当事者活動支援 オンライン交流等支援
群馬NPO協議会	活動団体向けオンライン活用講座と 個別支援・助成
NPO法人 北小学舎	子どもの居場所の衛生環境整備
一般社団法人 館林くらしとあそびの研究所	子育て支援、親子の居場所運営
分身ロボット応援！ しげるプロジェクト	分身ロボットを活用した難病の子ど も・大人の外出支援
JOYクラブ	学習支援、子どもの居場所運営

ニーズの入口（窓口）

緊急小口貸付
総合支援資金特例貸付

コロナ禍で生活が急激に
悪化した人

実はもともと課題を抱えていて
ギリギリの暮らしをしていた人

コロナ禍長期化で生活再建できず
困り続ける人

生活困窮者
自立支援
相談機関へ

貸付の再利用者
貸付期間の延長

ここは対応できている？

貸付時は、
利用者のアセスメント
までは、正直できない。

「再貸付・償還指導」で
アセスメントできる？

「ここに困り続けている人がいる」
ということを認識することが大切

ここに“情報の壁”がある？

ニーズの入口（アウトリーチ）

地域の活動は、感染防止のため
活動範囲が小規模化する傾向。
中学校区→小学校区・自治会

普段の福祉活動の
支援対象者 + α

民生委員は、緊急事態宣言下でも、
県内183地区のうち6割が活動していた。

生活支援体制整備事業の協議体も、
さまざまに工夫しながら活動を再開。

NPO等は、コロナ禍で困っている人を支援すべく
普段の活動を見直し、試行錯誤で活動を続けていた。

適時に状況を把握できず、
これらの地域活動を
後押しできなかった

「小さな工夫」の事例を
適時に共有・すぐに実践
（そのための支援・助成）

寄付と助成

寄付は集まるも、
資金ニーズが
想像の域を出ず、
助成プログラムが
全体的に類似化

プラットフォームが必要

◎タイムリーな情報の共有と蓄積
（コロナ禍でも情報共有できる手段の確立）

◎支援活動を支援するしくみ
（情報を適時に示しアドバイスする）

「支える人を支えよう！赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援 全国キャンペーン」
助成申請書

社会福祉法人群馬県共同募金会 会長 あて

標記キャンペーン実施要項に基づき、下欄のとおり助成申請いたします。

申請書

添付書類

- 定款、会則
- 事業報告、決算
- 事業計画、予算

参考資料

アピール資料
というよりは
補足資料がよい

◆提出方法

Eメール

◆提出 ✕ 切

11/20
必着

法人・団体名			
代表者職氏名		担当者氏名	
所在地	〒 ー		
TEL		FAX	
ホームページ URL			
メールアドレス			
法人・団体の 設立年月	年 月	会員数	名
法人・団体の 設立目的			
法人・団体の 主な活動内容			

申請事業のタイトル	
解決したい課題 ※例が・どのような状態で なぜ・どのように困って いるか ※将来的にどのような状態に なることを目指すか	「解決したい課題」を 明確にすることが大切
法人・団体として 課題を解決する方法 (現段階でのアイデア) ※上記「解決したい課題」が 具体的な明確であれば、 実施方法は変更可能 ※財源不足する場合に別紙で 作成して添付	「解決したい課題」とマッチしていれば、 手法は、多少の変更は可能
〔添付書類〕 ☐ 会則・定款等の組織規程 ☐ 前年度の事業報告書及び決算書 ☐ 今年度の事業計画書及び予算書 ☐ 当申請事業にかかる経費の概算の表(書式は自由) ☐ その他、当申請事業にかかる参考資料	〔助成申請額〕 _____万円

◆ 申請事業にかかる経費の内訳

経費項目	金額(円)	経費の内訳(概算)
諸謝金		
旅費交通費		
消耗品費		
印刷製本費		
使用料		
通信運搬費		
備品購入費		
その他		
合 計		←下欄の資金内訳⑤と一致

◆ 申請事業にかかる資金内訳

資 金 項 目	金額(円)	【特記事項】
① 共同募金会からの助成金		
② 他からの補助金・助成金		
③ 申請法人・団体の自己資金		
④ その他(参加費・広告料など)		
⑤ 合 計		

◆ 感染症流行下での活動において苦勞していること・不安なことなどがあればお教え下さい。

--